

今月の新着本

「12歳からの読書案内」
金原瑞人 著
すばる舎
多感な時期だからこそ読みたい本がある。「いのち」「愛」「勇気」「希望」の大切さ。親が教えてやれないことは多いから、中学・高校生に贈りたい心のバイブル100冊。【中央図書館所蔵】

「社長、命」
金宇満司 著
イースト・プレス
石原裕次郎の壮絶な生涯と元石原プロ常務で撮影監督の著者がカメラをおき、裕次郎の介護に尽くした2,250日の命の記録。裕次郎デビュー50周年記念特別出版。【長岡図書館所蔵】

「砂漠の薔薇」
新堂冬樹 / 幻冬舎
ハイソな奥様の輪に加わり、娘の「お受験」にのめり込む中西のぶ子。なぜ親友の娘を殺す必要があったのか。平凡な主婦を殺人へと駆り立てた狂気を描く衝撃の犯罪小説。【長岡・葦山図書館所蔵】

「その歌声は天にあふれる」
ジャミラ・ガヴィン 著
徳間書店
舞台は18世紀の英国。残忍な仲買人の父親と汚れなき魂を持つその息子。そして様々な境遇の少年たち…。物語を彩る音楽の描写が美しい、痛ましくも力強い物語。【中央図書館所蔵】

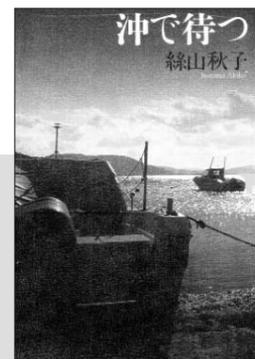
「皇族たちの真実」
竹田恒泰 / 小学館
2000年以上続いた皇室の歴史の中で、3回あった皇統断絶の危機。いずれも傍系の男性皇族が即位し皇統を繋いできた。旧皇族出身の著者が皇室の歴史、自身の覚悟を語る。【長岡図書館所蔵】

「すこやかに おだやかに しなやかに」
谷川俊太郎 / 佼成出版社
磨きぬかれた日本語が描き出す人間の心の「ゆらぎ」とそこに現れる「生きてゆくこと」の意味。生命力あふれる写真と声に出して味わいたい「こころの詩」12編。【葦山図書館所蔵】

「センチメンタル・サバイバル」
平安寿子 / マガジンハウス
独身で働く叔母の家に家事一切を引き受ける条件で同居をはじめた24歳フリーターのるか。理想と現実の狭間で揺れ動くガールズライフを描いた異色作。【中央図書館所蔵】

問合せ

【中央図書館：電話 0558 76 5566】
休館日 4月3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・28日(金)・29日(土)
【長岡図書館：電話 055 947 2364】
休館日 4月28日(金)・29日(土)
【葦山図書館：電話 055 949 8605】
休館日 4月3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・28日(金)・29日(土)



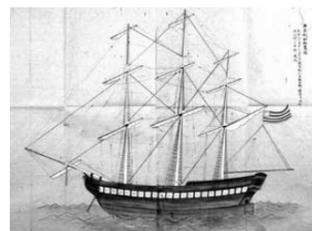
「沖で待つ」
絲山秋子 著
文藝春秋
同期入社してバブル期を共に働く「私」と「太っちゃん」。仕事を通して築かれた男女の信頼と友情を確かな筆致で描く、第134回芥川賞受賞作品。「勤労感謝の日」を併録。【葦山図書館所蔵】

「チーム・パチスタの栄光」
海堂尊 著
宝島社
パチスタ手術(心臓移植の代替手術)の専門チームを有する大学病院で立て続けに術中死が発生。医療過誤か殺人か、万年講師と変わり者の役人が死の謎に迫る。【中央・葦山図書館所蔵】

「ズッコケ中年三人組」
那須正幹 / ノブラ社
昨年完結したズッコケシリーズ。1978年のスタート時に6年生だった3人も不惑の歳を迎えた。さて、3人の人生は？かつてのズッコケ愛読者から現在の子どもまで楽しめる。【中央・長岡図書館所蔵】

おもしろい本

英龍が「名代官」と呼ばれ、民政や幕府の海防政策遂行に力を発揮した背景には、幅広い情報収集活動と、その分析・活用があったのです。この企画展では、江川家に伝来した資料を素材に、葦山代官江川英龍の「情報戦略」の一端を紹介します。



異国船情報の一例。
天保8年浦賀に来航したモリソン号(江川文庫蔵)

本では、ただ座しているだけでは、一片の情報も得ることはできませんでした。逆に言えば、正確な情報をより早く入手することの重要性は、今日よりもずっと高かったのです。そうした時代に、幕府直轄領を預かる代官として活躍したのが、江川太郎左衛門英龍(坦庵)です。英龍は、民政においては部下を派遣したり、時には自ら変装して視察に赴いたりするなど、管轄地の実状を把握すべく、常に手を尽くしていました。また、海防の構想を立てるにあたっては、渡辺華山や高島秋帆らを通じて、積極的に蘭学や西洋砲術を取り入れただけでなく、そうして得た知識や技術を用いて、新たな人材の育成も図っています。

しかし、江戸時代末期の日本では、ただ座しているだけでは、一片の情報も得ることはできませんでした。逆に言えば、正確な情報をより早く入手することの重要性は、今日よりもずっと高かったのです。そうした時代に、幕府直轄領を預かる代官として活躍したのが、江川太郎左衛門英龍(坦庵)です。

呼吸をするのと同じくらいあたり前に、膨大な情報が行き交う、二十一世紀のわたしたちの暮らし。ネットワークに接続さえすれば、居ながらにして様々な情報を入手することもできます。

市内の文化財を再調査

平成17年度～18年度にかけて、新たに任命した市文化財保護審議員6人による市内文化財の再確認が行われています。

市内の指定文化財をすべて現地確認して、名称や分類、指定根拠などを市の統一した規格にしようというものです。

確認調査では、文献資料と現地調査を湯之上隆(市文化財保護審議員、静大教授 中世)、瀬川裕一郎(考古学)、建部添彦(建造物)、吉川裕子(民俗学)、橋本敬之(近世)、櫻井祥行(近現代)の各専門研究者が行っています。

3月4日には、伊豆長岡地区内の指定文化財11カ所を巡回調査しました。



江川太郎左衛門英龍(坦庵)
(大國土豊画)

日時 8月29日(火)まで
9:00～16:30
入館料 大人200円 / 小中学生100円
江川邸との共通入館料
大人400円 / 小中学生200円
伊豆の国市民は半額です。
毎週水曜日は休館日です。

8/29
(火)まで

開催中です

葦山郷土史料館企画展 葦山代官江川英龍の情報戦略

葦山郷土史料館企画展
葦山代官江川英龍
の情報戦略

問合せ 社会教育課
電話 055 949 6809

その12

北の大地へ!

第6回 静岡県東部少年の船

他市町の中学生と一緒に航海体験や洋上研修、そして雄大な自然に囲まれた北海道での様々な体験学習を通じて、仲間づくり、思い出づくりをしてみませんか。

問合せ 社会教育課 電話 055 949 6809

実施期間 【第1船】7月27日(木)～8月2日(水)
【第2船】8月18日(金)～24日(木)
研修地 北海道(日高・大雪・札幌)
資格 伊豆の国市、沼津市、御殿場市、三島市、裾野市、函南町、清水町、長泉町に在住の全研修日程に参加可能な中学生
定員 第1船・第2船各10人
参加費 40,000円
申し込み方法や詳細は、4月中旬ごろに各中学校を通じてお知らせします。

